

令和8年度 一関市立磐井中学校 職員働き方改革アクションプラン

～教育の質の向上とワークライフバランスを考慮した業務改善、タイムマネジメントの推進～

磐井中学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

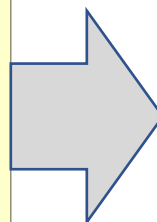
1 現 状

【教職員の勤務状況】（令和8年4月）

- ① 月45時間以上の残業者数（19人）
- ② 月80時間以上の残業者（8人）
- ③ 在校等時刻が午後8時を超えた、のべ教職員数（142人）
- ④ 所属教職員の月平均残業時間（65時間）

【働き方改革を進める上での課題】

- ・ 学校の役割を果たしながら、家庭との分担や、地域・関係機関との連携を進めること。
- ・ 欲張らず、目的やねらいを明確にした教育活動を展開すること。
- ・ 校内の労働安全衛生委員会を機能させること。



2 目 標 ・ 目 指 す 姿

【R8年度目標】

教職員一人一人が自らの働き方に課題意識をもち、実際にワークライフバランスを取ろうとする。

○最終退勤時刻目標

「午後8時を過ぎないこと」とし、健康の維持を優先している。

○学校における業務改善の推進目標

校務支援システム等を効果的に活用し、業務のDX化を進めている。

○教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標

仕事のやりがいや職場の安心感を向上させ、心のゆとりが生まれるよう取り組んでいる。

3 目標・目指す姿を達成していくための具体的取組内容

○教職員の健康管理

- ・ 管理職が、教職員一人一人の健康状態や業務の進捗状況を把握し、声がけや面談などを通して適切な指導・助言を行う。
- ・ 働きやすい職場を目指し、お互いに声をかけ合い、心と力を合わせ、助け合って教育活動を推進する。
- ・ 気兼ねなく年次有給休暇や振替等を取ることができる職場の雰囲気、さらに醸成していく。

○学校における業務改善の推進

- ・ 隔週の学年長連絡会後に労働安全衛生委員会を行い、意見交換から実効性を高めていく。
- ・ 課題予防的生徒指導を積極的に展開し、事故ある場合は迅速で誠実な初期対応を行う。
- ・ 作業の効率化や生産性の向上のため、校務支援システムを効果的に活用する。
- ・ 紙媒体による保護者あて通知方法を見直し、「まなびポケット」の活用による電子化を進める。

○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ 学校運営支援協議会の場や、PTA関連の各種会議の場をととして、本校の働き方改革の方針について、随時、理解を求めていく。
- ・ 学校における夜の電話対応時刻を午後6時30分までとし、緊急の場合の連絡方法を確保しつつ、積極的な各種相談窓口の活用を促進する。
- ・ 部活動の地域展開について、各部保護者とともにスケジュール感をもって推進する。